

審 議 事 項

頁

審議事項

1 国際会議関係	提案2	若手アカデミーに関する国際ワークショップ 「ナショナルヤングサイエンティストアカデミー並びにグローバルヤングサイエンティストアカデミーの設立に関するワークショップ (Founding National Young Scientist Academies and the Global Young Scientists Academy (GYSA))」 への会員の派遣	1
----------	-----	---	---

2	
幹事会	87

提 案

若手アカデミーに関する国際ワークショップ 「ナショナルヤングサイエンティストアカデミー並びにグローバルヤングサイエンティストアカデミーの設立に関するワークショップ(Founding National Young Scientist Academies and the Global Young Scientists Academy (GYSA))」 への会員の派遣

- 1 提案者 若手アカデミー委員会委員長
- 2 議 案 標記について、下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 若手アカデミーに関する国際ワークショップ「ヤングサイエンティストアカデミー並びにグローバルヤングサイエンティストアカデミーの設立に関するワークショップ (Founding National Young Scientist Academies and the Global Young Scientists Academy (GYSA))」に以下のとおり会員を派遣することとしたいため。
- 4 派遣者 唐木 英明 (第2部会員)
塚原 東吾 (特任連携会員)
竹村 仁美 (特任連携会員)
駒井 章治 (特任連携会員)
- 5 派遣期間 平成22年2月14日(日)～16日(火)
- 6 派遣場所 ベルリン(ドイツ)
- 7 開催趣旨 本ワークショップは、インターアカデミー・パネル(IAP: Inter Academy Panel on International Issues)により、2010年2月14日～16日にドイツ・ベルリンにおいて開催される。
本ワークショップでは、新しい国際組織であるグローバルヤングサイエンティストアカデミー(GYSA)の設立、並びにヤングサイエンティストアカデミーの設立及び運営に関するベス

トプラクティスの共有に焦点を当てる予定である。特に初日には、どのようにしてナショナルヤングアカデミーを開始するか、その最も効果的な活動とはどのようなものか、をテーマに100人程度での議論を行うほか、二日目には、35人程度で、GYSAを設立し、GYSAのポリシーとその最初の活動を確立する。

参加者はIAP加盟各国の若手研究者（自国でのヤングアカデミーの設立又はGYSA、もしくはその双方に強い関心を有する、45歳以下でPhD取得後10年以内の者）及び各国アカデミーのメンバー（自国でのヤングアカデミーの設立に関心を有する者）である。卓越した若手研究者とナショナル科学アカデミーのメンバー、IAPのメンターらが一堂に会し、若手研究者の人的ネットワークを広げる絶好の機会になると考えられる。

なお、本ワークショップの組織委員会は、ジョージ・A・ヴァイス（Prof. Gregory A. Weiss: カリフォルニア大学アーバイン校）、ティルマン・ブリュック（Prof. Tilman Brück: ドイツ経済研究所、ドイツヤングアカデミー議長）両共同議長ほか9名により構成されている。

8．参照用書類は以下のとおり：

別添 1 - 開催案内（和 仮訳 ・英）

別添 2 - GYSA設立趣意書（和 仮訳 ・英）

別添 3 - ワークショップ組織委員会名簿

**ナショナルヤングサイエンティストアカデミー並びに
グローバルヤングサイエンティストアカデミーの設立
に関するワークショップへの I A P メンバーの招待について
(仮訳)**

2009 年 11 月 6 日

親愛なる I A P メンバー各位

この 2 年来、Inter Academy Panel on International Issues (I A P) は、50 ヶ国以上の若手研究者のグループを、科学と、今後の発展する社会におけるその役割とについての議論を行うために、世界経済フォーラム (W E F) による中国でのサマーダボス会議に招待してきました。この会合の成果として、若手研究者諸氏が、I A P の支援の下に、グローバルヤングサイエンティストアカデミー (G Y S A) の創設を主導してきています。

この新しい国際組織は、世界中の 45 歳以下の研究者に対して、地球規模で科学研究の質を強化し、国際的な問題に対する若手研究者の声を強める機会を提供するものです。G Y S A はまた、科学の卓越性を認識し、若い人々に対して科学に対する認知を高める手助けをするでしょう。加えて G Y S A は、とりわけ、若手アカデミーのない国々の研究者にとって役立つものとなります。この点での重要性の例として、アカデミーは、キャリアの初期段階にある研究者に対して、メンターシップを提供するでしょう。

要約すれば、相互にアーチを成すかのような G Y S A の目的群は以下の通りです。

- ・学際的な研究を進展させる；
- ・科学と社会（政策形成者、実業家、学生、一般公衆その他）との間での情報やアイデアの交換を促進する；
- ・一般的な問題もしくは科学政策—とりわけ若手もしくはキャリアの初期にある研究者の関心に関わるもの—に対してアドバイスをを行う；
- ・相互の協力と科学的な交流—とりわけ途上国と先進国の若手研究者の間での—を支援する；
- ・各国での若手研究者アカデミー設立の触媒となる；
- ・各国の若手研究者アカデミーの間での活動を支援しコーディネートする；

ご招待

I A P は、貴科学アカデミーの代表者と、貴国の若手研究者とを、2010 年 2 月 14 日から 16 日に開催される「ナショナルヤングサイエンティストアカデミー並びにグローバルヤングサイエンティストアカデミーの設立に関するワークショップ」に出席するために応募いただきますよう、ご招待申し上げます。

ワークショップについて

このワークショップは、ナショナル科学アカデミーのメンバー諸氏と、世界経済フォーラムのヤングサイエンティストコミュニティのメンバーである卓越せる若手研究者諸氏と、I A P のメンター諸氏とに一堂に会していただくものです。我々は、以下のグループがワークショップに参加することを奨励致します。

1. 若手研究者－自然科学と社会科学の双方を含むすべての分野の優れた若手研究者で、自国におけるナショナルヤングアカデミーの設立、あるいはGYSA、もしくはその双方に対して強い関心を有する者。

若手研究者とは、自らの独立したキャリアの最も初期段階にあり、一般的には PhD 取得後 10 年以内に 45 歳以下の者として定義される。これに加えて、研究上の成果に関して顕著な業績を有することと、国際的な科学研究並びに若手研究者の代表たることについて、従事し促進したことに関する具体的なコミットメントを有することがクライテリアとなる。旅費の支援は潜在的に利用可能である。

2. ナショナルアカデミーのメンバー－自国におけるナショナルヤングアカデミーの設立に関して関心を有する立派な研究者。例外的なケースとして限定された国内旅費の支援が利用可能である。

このワークショップは、新しい国際組織であるGYSAの創設と、ヤングサイエンティストアカデミーを創設し運営していくためのベストプラクティスの共有に焦点を当てることとしています。

応募手続き

関心のある応募者は、どのようにワークショップに応募するのか情報を得るために、以下のウェブサイトを訪ねて下さい。

www.diejungeakademie.de/gysa （訳注：ドイツのヤングアカデミーのウェブサイト）

応募の締め切りは 2009 年 12 月 1 日ですのでご注意ください。

貴殿の応募が可能な限りの考慮を受けることを確かなものにするため、記載された指示に注意深く従って下さい。如何なるご質問並びに完成した応募書類は、件名に「GYSA」と記載して、次のウェブサイトにEメールで送信下さい：office@diejungeakademie.de

我々は、貴殿のご出席、並びに貴殿がこの情報をできるだけ広汎な読者に広めていただきますことを予期致しまして、深甚なる感謝の念を表明するものです。誠にありがとうございます。

敬具

（署名）

IAP共同議長 ハワード・アルパーによって署名された。

ワークショップ組織委員会共同議長；

（署名）

ジョージ・A・ヴァイス
カリフォルニア大学アーバイン校
米国

（署名）

ティルマン・ブリュック
ドイツ経済研究所
ドイツヤングアカデミー議長

c.c.モハメド・H・A・ハッサン教授
TWAS並びにIAP事務局長

**Invitation for InterAcademy Panel (IAP) Member Academies to Participate in a Workshop
on Founding National Young Scientist Academies and the Global Young Scientists Academy (GYSA)
14-16 February 2010, Berlin, Germany**

6 November 2009

Dear IAP Members,

For the past two years, the InterAcademy Panel on International Issues (IAP) has convened a group of young scientists from more than 50 countries at the World Economic Forum (WEF) Summer Davos meeting in China to discuss science and its role in the future development of society. As an outcome of these meetings, the young scientists have initiated creation of a Global Young Scientists Academy (GYSA) with support from the IAP.

This new international organization will provide scientists under the age of 45, from all over the world, with an opportunity to enhance the quality of scientific research across the globe and to strengthen the voice of early-career scientists on international issues. The GYSA will also recognize scientific excellence and help raise the profile of science among young people. In addition, the GYSA will be especially useful for scientists from countries without a young national academy of sciences; as an example of this importance, the academy will provide mentorship to scientists during the early stages of their careers.

In summary, the over-arching aims of the GYSA include:

- to advance interdisciplinary research;
- to encourage the exchange of information and ideas between science and society (including with policy makers, businesses, students, the general public, and others);
- to advise on general or science policy, especially as related to the interests of young or early career scientists;
- to support collaboration and scientific exchange, especially between young scientists from developing and developed countries.
- to catalyze the formation of national young scientist academies;
- to support and coordinate activities amongst national young scientist academies.

INVITATION

IAP is honoured to invite representatives of your academy of sciences and young scientists from your country to apply to attend a 'Workshop on Founding National Young Scientist Academies and the Global Young Scientists Academy (GYSA)' will be held in Berlin, Germany, on 14-16 February 2010.

WORKSHOP INFORMATION

The workshop will gather together members from national academies of science, distinguished young scientists, members of the WEF young scientists community and mentors from IAP. We encourage the following groups to participate in the workshop:

1. Young scientists - excellent young scientists from all fields, including both natural and social sciences, with a strong interest in establishing a national young academy in their home country, the GYSA or both. Young scientists are defined as being in the earliest stages of their independent careers, generally within 10-years after receiving a PhD and under 45-years old. Additional criteria include an outstanding track record of scientific productivity and a demonstrated commitment to the service and promotion of international science, and of representing young scientists. Travel support is potentially available.
2. Members of national academies - established scientists who are interested in establishing a national young academy in their home country. Limited local travel support might be available in exceptional cases.

The workshop will focus on establishing the new international organization, the GYSA, and sharing best practices in establishing and running a Young Scientists Academy.

APPLICATION PROCEDURES

Interested applicants should visit the following website for information on how to apply for this workshop:

www.diejungeakademie.de/gysa

Please note that applications must be received by 1 December 2009.

To ensure your application receives the best possible consideration, please follow the instructions carefully. Any questions and completed applications should be emailed to the following website with "GYSA" included in the subject line: office@diejungeakademie.de

We would be very grateful for your assistance in disseminating this information to the widest possible audience. Thank you very much in advance.

With regards,



Signed for the IAP by Howard Alper, IAP Co Chair

Workshop Organizing Committee Co-Chairs:



Gregory A. Weiss
University of California, Irvine
USA



Tilman Brück
German Institute for Economic Research
Chair of the Board, German Young Academy

*c.c. Professor Mohamed H.A. Hassan
Executive Director, TWAS and IAP*

趣意書（仮訳）

グローバルヤングサイエンティストアカデミーの設立：21 世紀における科学研究及び若手科学者の知見の改善を目指す国際組織の創設

ワールド・エコノミック・フォーラム（the World Economic Forum）は、インターアカデミーパネル（IAP: InterAcademy Panel on International Issues）との協力体制の下、2 度にわたり若手科学者を集め、科学と社会における科学の役割について論議する場を提供した¹。これらの会合をもとに、多くの国や地域から集まった若手科学者から、科学と社会とが直面している問題への解決に寄与することのみならず、全世界の科学研究の質を向上させる機会を与えることをも目的とする、グローバル・ヤングアカデミー・オブ・サイエンス（GYSA: Global Young Academy of Sciences）の創設が企画された。GYSA は、とりわけ、科学と社会との間のインターフェースにおける国際問題について、若手科学者に発言権を与えるものとなる。

今日の世界では、科学は地球規模の問題や、複雑化が進む諸問題に対応してゆかねばならない。こうした難題対応には、経歴や専門分野が異なる研究者の関与が有効であることも少なくない。更には、異なる国や地域の様々な政策立案者サイドから挙がってくる政策や解決方法の間でうまく協調関係をとることも必要となる場合が多い。世界の科学者を束ねることにより、より効果的な解決方法に向けた新しい機会がもたらされる。それに加え、学問分野、文化、及び国籍を超えたアイデアの交換により、科学者に与えられるチャンスも拡大し、科学の立場（scientific capacity）の向上や世界情勢の改善がもたらされるだろう。

従って、GYSA の設立は、個々の科学者と地球規模での科学の双方に資するものであると我々は考えている。一例では、若手科学者アカデミーの創設は、科学の利点（scientific excellence）についての認識を高め、そして科学や若手科学者のイメージ（profile）を向上させることにつながる。後者は、今の時点では科学に対する支援が軽んじられている国では特に重要となる。それに加え、GYSA は、特に若手科学者のためのアカデミーがない国の科学者にとっては特に重要となる。また、新世代の科学者のロールモデル（inspirational figures）としての重要な役割を果たし、かつ科学教育のイメージ（profile）も向上できるだろう。このアカデミーは、キャリアの最も初期段階にある科学者に優れた指導者（memtorship）を提供することにより、優れた科学的素質を持つ人材（scientific talent）を育成することとなる。

GYSA の包括的目標の概要は以下のとおりである：

- 学際的研究を促進する

¹ 中国・天津（2008 年 9 月）及び中国・大連（2009 年 9 月）のワールド・エコノミック・フォーラム（World Economic Forum）の会合

- 科学と社会（政策立案者、企業、学生、一般大衆、その他を含む）との間の情報やアイデアの交換を奨励する
- 特に若手科学者、つまりキャリアの初期段階にある科学者の利益に関連するような一般政策、科学政策に対する助言を与える
- 特に発展途上国と開発国の若手科学者の、双方の間の支援協力と科学交流を行う
- 各国の若手科学者アカデミーの構築を促進する
- 各国の若手科学者アカデミー間の活動の支援及び調整を行う

活動計画

グローバル・ヤングアカデミー・オブ・サイエンスの創設のため、我々は以下の活動を計画している。

第一に、この計画を伝えるためのレターを準備し、GYSA の設立メンバーである科学者に加え、それ以外の科学者にも広く、若手科学者の支援を呼びかける。その後、GYSA の設立メンバー全員は、自国のアカデミーのメンバーに非公式な形式でこれを伝える。

第二に、グローバル・ヤングアカデミー・オブ・サイエンスの設立と運営に向けたワークショップの組織化を提案する。このワークショップでは、各国アカデミーの会員、様々な国の著名な（distinguished）若手科学者（IAP-WEF ヤングサイエンティストコミュニティーを含む）及び IAP からの指導者（mentor）が、ヤングサイエンティストアカデミーの設立及び運営におけるベストプラクティス（best practices：有るべき姿）について情報を共有する。こうした情報は、各国アカデミーとグローバルアカデミーの双方に適用することができるため、本ワークショップにより、自国での若手科学者アカデミー設立を目指す科学者の一助となる。

第三に、ホームページやその他の仮想プラットフォーム（virtual platforms）といった形式の仮想コミュニティーを構築することを考えており、同コミュニティーには、著名な若手科学者のプロフィール、声明文、知識の共有とネットワーキング作り（networking opportunities）を促進するための活動についての記録書類が含まれる。

第四に、我々は、若手科学者のグローバルコミュニティーの必要性を伝えるため、2009 年 9 月に中国（大連）で開催された IAP-WEF での若手科学者の会合の結果を、Science 誌を通して世界の科学者コミュニティーに表明することを提案する。

我々が、活気に満ち、かつ効率のよいアカデミーの設立に成功する場合には、GYSA としては、以下の活動を行うことを考えている：

- 国際的及び/又は学際的に重要なトピックスについての会合（その内の幾つかは、WEF の会議もしくはその他の国際的なイベントと協同で行う）
- ホームページやニュースレターを介してのコミュニケーション

- グローバルサイエンスと若手科学者に関連する案件に関するフォーラム
- 定款制定
- IAP 組織内での地位の確立
- 地域間の旅費用奨励金付与 (travel award)
- アカデミー間のネットワーク構築と科学に関連する国際交流の奨励

こうした活動は、以下のような成果につながると考えられる：

- 特に若手科学者に関する案件（例えば、アカデミーの改革もしくは終身会員権）についての白書の創刊
- 世界各地の類似科学組織との協同活動
- 科学ビジネスと科学政策のインターフェースにおける人と人とのつながりあいの構築及びリーダーへの情報提供

GYSA は、奨励金、後援金、その他の活動からの収入確保により、(財政面で) 独立することを目指す。設立当初のメンバーには、IAP-WEF ヤングサイエンティストコミュニティが含まれる。後のメンバーについては明確な選定基準を適用する。この基準は、新知識獲得への貢献度と政治規制からの独立性に基づくものとなる予定である。更に、社会と若手科学者のコミュニティの両方に奉仕することについての明確な意志の表明/経験 (a demonstrated commitment) が選考の際の重要基準となるだろう。目的は、独立したキャリアの最も初期段階にある科学者に良い影響を及ぼすと同時に（若手科学という）公民権を与えることにあるため、我々は暫定的に、博士号取得 10 年以内で 45 歳未満のものとして若手科学者を定義するが、国毎による条件の斟酌は必要かもしれない。

まとめとして、今回提案する GYSA は、科学と社会に利益とよい影響を広く及ぼすことになるだろう。こうした経験から参加者が得るものは多く、そして若手科学者コミュニティが拡大すれば、典型的かつ正式なフォーラムを提供することに始まり、重要問題への対応に至るまで、更なる利益がもたらされることになる。それに加え、このアカデミーは、将来の科学リーダーを育てるため、開発国と発展途上国の科学者間の関連強化が、科学の立場 (scientific capacity) の強化につながっていく。おそらく一番重要なのは、学問分野や地域を越えた科学交流が、喫緊の問題に対する革新的な解決方法を生み出す原動力となり、こうした問題も 21 世紀の科学により対処されてゆくだろうことである。

Establishing a Global Young Scientists Academy: Creating a World-wide Organization to Improve Scientific Research and the Experience of Young Scientists in the 21st Century

The World Economic Forum together with the InterAcademy Panel on International Issues (IAP) convened two groups of young scientists to discuss science and its role in society.¹ From these meetings, young scientists from many different countries and continents, envision establishing a Global Young Academy of Sciences (GYSA) as both a contributor to solutions facing science and society, but also as an opportunity to enhance the quality of scientific research across the globe. In particular, the GYSA would provide a voice to Young Scientists in international issues at the interface of science and society.

In today's world, science must address global issues and increasingly complex problems. Such challenges often benefit from investigators with different backgrounds and expertise areas. Furthermore, the solutions frequently require coordination of policies and solutions from different policy sectors across disparate countries and regions. Bringing together international scientists creates new opportunities for more effective solutions. In addition, the exchange of ideas across disciplines, cultures, and nationalities could expand opportunities for scientists around the globe, increasing scientific capacity and improving the state of the world.

Thus, we believe establishing a GYSA could benefit both individual scientists and global science. For example, the creation of the academy of young scientists could provide recognition of scientific excellence and raise the profile of science and young scientists. The latter is especially of importance in countries where science currently receives low support. In addition, the GYSA would be especially important for scientists from countries not having a national academy of sciences specifically for young scientists. Additionally, members could play a crucial role as inspirational figures for a new generation of scientists, and raise the profile of science education. The academy could also foster scientific talent by providing mentorship to scientists during their critical early career stage.

In summary, the over-arching aims of the GYSA include the following.

- to advance interdisciplinary research
- to encourage the exchange of information and ideas between science and society (including with policy makers, businesses, students, the general public, and others)
- to advise on general or science policy, especially as related to the interests of young or early career scientists
- to support collaboration and scientific exchange, especially between young scientists from developing and developed countries
- to catalyze formation of national young scientist academies
- to support and coordinate activities amongst national young scientist academies

Plan of Action

To establish the Global Young Academy of Sciences we plan the following actions.

First, we will prepare a letter to communicate the plan, and seek the support of young scientists both

¹. World Economic Forum meetings in Tainjin, China (September, 2008) and Dalian, China (September, 2009).

within the inaugural GYSA membership and more broadly. Then, all members of the inaugural GYSA will talk informally with members of the national academy in their home country.

Second, we propose to organize a workshop to set up and run the Global Young Academy of Sciences. In this workshop, members from National Academies of Sciences, distinguished Young Scientists from different countries (including the IAP-WEF Young Scientist Community) and mentors from IAP will share their best practices in establishing and running a Young Scientist Academy. Since these practices will be applicable both at national and global levels, this workshop could also help scientists seeking to establish national young scientist academies.

Third, we intend to establish a virtual community in the form of a website, or other useful virtual platforms, that will include the profiles of the distinguished young scientists, the declaration, and documentation of activities to promote knowledge sharing and networking opportunities.

Fourth, we propose to address the global scientific community through a letter to *Science* magazine with the outcome of the young scientist meeting at IAP-WEF in Dalian in September, 2009 to communicate the need for a global community of young scientists.

If we are successful in founding a vibrant and effective academy, we expect the GYSA to coordinate the following activities.

- Meetings on topics of international and/or multi-disciplinary importance (some in conjunction with WEF meetings or other international events)
- Communications through a website and newsletter
- Forum for issues involving global science and young scientists
- Constitution
- Position within IAP structure
- Inter-regional travel awards
- Academic networking and facilitation of international scientific exchange

Such activities will lead to the following outcomes.

- Development of white papers especially for issues concerning young scientists (e.g., academic reform or tenure)
- Collaboration with similar science organizations from around the globe
- Connecting people and informing leaders at the science-business and science-policy interfaces

GYSA will aim for self-sustained through income generation from grants, sponsorship and other activities. The initial members include the IAP-WEF Young Scientist Community. For subsequent members, rigorous selection criteria will be applied. These will be based on contributions to the generation of new knowledge with independence from political control. Additionally, a demonstrated commitment to service, both to society and the community of young scientists, will be a key criterion for selection. Since the goal is to impact and enfranchise scientists at the earliest stages of their independent scientific careers, we preliminarily define young scientists as within 10-years of PhD award and less than 45-years old, though accommodation for local conditions on a per country basis may be required.

In summary, the proposed GYSA will benefit and impact science and society broadly. The participants will gain from the experience, and the wider community of young scientists will also benefit from having a representative and authoritative forum to address critical issues. Additionally, through improved links between scientists from developed and developing countries, scientific capacity will be enhanced, as the academy nurtures future scientific leaders. Perhaps most importantly, scientific contacts across disciplines and regions could drive innovative solutions to the pressing challenges addressed by 21st century science.

Workshop Global Young Scientists Academy (GYSA)**The Workshop Organizers****Maite M. Aldaya**

Researcher

Water Observatory - M. Botin Foundation

Spain

Amal Amin

Associate Professor, Leader

Nanostructured Polymers Research – National Research Center

Egypt

Tilman Brück

Professor and Head

German Institute for Economic Research, Berlin

Germany

Unuabonah Emmanuel I

Lecturer

Redeemer's University

Nigeria

Yael Hanein

Senior Lecturer

Tel-Aviv University, Tel-Aviv

Israel

Kassymkhan N. Kapparov

Head of Division for Competitiveness Statistics

Agency on Statistics of the Republic of Kazakhstan

Kazakhstan

Nitsara Karoonuthaisiri

Head of Microarray Laboratory

National Center for Genetic Engineering and Biotechnology, Pathumtani

Thailand

Paula Kivimaa

Senior Researcher

Finnish Environment Institute, Helsinki

Finland

Hiba Mohamed

Associate Professor

Institute of Endemic Diseases

University of Khartoum

Sudan

Hoon Sohn

Associate Professor

Korea Advanced Institute of Science and Technology

Republic of Korea (South Korea)

Gregory A. Weiss

Professor

University of California, Irvine

USA

**Workshop Announcement****Background****The Workshop****Who should apply?****How to apply****The Workshop Organizers**